



静岡銀行

What's SHIZU-GIN?

第116期 営業の中間ご報告

2021
December



第14次中期経営計画

COLORS

～多彩～

地域のお客さまの 夢の実現に寄り添う 課題解決型企業グループへの変革



基本理念 | 地域とともに夢と豊かさを広げます。

長引く新型コロナウイルス禍からの回復過程において、世界経済は資源価格を中心とする想定以上の物価上昇に直面しています。国内でもワクチン接種が進み、第5波以降の感染者数は落ち着いていますが、燃料価格の上昇や半導体不足の問題が原材料価格、物流価格の上昇という形であらゆる産業にマイナスの影響を与えています。物価上昇の長期化は消費に悪影響を与えかねず、感染症再拡大の懸念も払拭できないことから、経済回復に向けた道筋は未だ不透明な状況が続いています。

こうして先行きの見通しが不確実性を増すなか、静岡銀行グループでは、いかなる環境にあっても地域とともに持続的な成長を目指すため、昨年度からスタートした第14次中期経営計画「COLORs~多彩~」におけるさまざまな挑戦を加速しています。本年度の主な取り組みは本誌でお示した通りですが、一部を紹介し、グループ各社の自立と連携によりグループ経営をさらに強化するとともに、地域の成長に貢献する新たな事業領域を拡大するため、去る9月に持株会社体制への移行について検討を開始しました。社会が大きく急速に変化するなか、経営の機動力を高めながら、多様化する地

域課題の解決を通じて皆さまとともに持続的な成長を遂げるための重要な戦略として、来年10月の持株会社設立を目指します。

また、地域のDX推進を支援するため、静岡県と毎年共催している「TECH BEAT Shizuoka」にくわえ、ファンド出資を通じて得られた広範なネットワークをベースとして、ベンチャービジネスを事業の1つに育てる取り組みにも着手しました。今年6月にはベンチャー企業への投融資や事業支援を通じた新たな事業分野の開拓を目指して、東京を拠点とする「ベンチャービジネスプロジェクトチーム」を新設したほか、11月には先端技術や先進的な取組事例等の情報収集やネットワーク構築、人材育成を目的としてアメリカのシリコンバレーに地方銀行で初めて駐在員事務所を新設しました。

今後、こうした取り組みを通じて得た知見やノウハウ、ネットワークを地域に還元することで新たな産業が育つエコシステムの構築につなげたいと考えています。

さらには、国際的な議論が急速に高まっているカーボンニュートラルの実現を地域社会の重要な課題と捉え、グループとして2030年度までに温室効果ガスの排出量を2013年度対比で60%削減する目標を定めて具体的な取り組み



頭取 柴田久

に着手するとともに、地域の皆さまに向けて金融サービスを通じた脱炭素化支援の充実を図りました。SDGsに積極的に取り組む企業向けの「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」をはじめとする融資商品の拡充や、グループ各社でもESG関連の投資信託やESGリース等の取り扱いを強化しています。

新型コロナウイルス禍がもたらした不可逆的な変化の先には、以前の日常とは異なる新しい未来が待っています。あらゆることが日々刻々と変化する今こそ、立ち止まることなく新たな一歩を踏み出すことが大切です。それは地域の皆さま一人ひとりが「夢の実現に挑戦すること」と言い換えることもできるのではないのでしょうか。

静岡銀行グループでは、地域、お客さま、従業員、株主というすべてのステークホルダーから将来にわたって真に必要なとされる企業グループ

であり続けることを目指して、地域のあらゆる課題解決に全力を注ぎ、皆さまの夢の実現に寄り添いながら、グループ一体となって積極果敢に挑戦を続けてまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

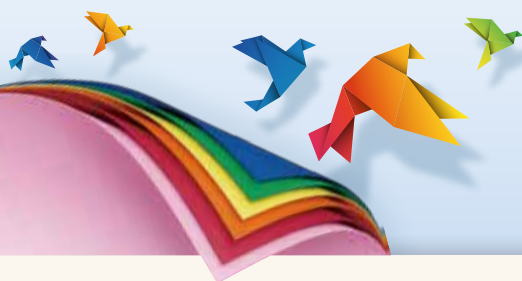
Contents

- 1 Top Message
- 3 第14次中期経営計画
- 5 TOPICS
- 7 地方創生
- 9 課題解決型企業グループをめざして
- 11 営業のご報告
- 12 Shizugin:ship
- 13 地域社会への貢献
- 17 第116期 営業の中間ご報告
- 21 決算情報

COLORS

～多彩～

基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、地域社会の豊かな未来の創造に向けて、静岡銀行グループが一体となって「課題解決型企業グループ」への変革に取り組んでいます。



ビジョン

3年ビジョン
地域のお客さまの夢の実現に寄り添う
課題解決型企業グループへの変革

地域から必要とされる
企業グループへ

10年ビジョン
地域の未来にコミットし地域の成長を
プロデュースする企業グループ



■ 持株会社体制への移行の検討を開始

2022年10月をめどに持株会社体制への移行について検討を開始しました。今後は、新体制への移行により、柔軟で強固なガバナンス体制を構築し、さらなるグループ経営の強化を図ることで、新たな事業領域の拡大に取り組めます。



オンライン会見
(2021年9月)

めざす姿 ステークホルダーに貢献できる企業グループ

地域・お客さま

多様化・複雑化する
課題への対応

従業員

多様な個性をもつ従業員が
活躍できる機会の拡大

株主

持続的な収益性の確保による
株主価値の向上

■ 「シンガポール支店」「シリコンバレー駐在員事務所」の開設

2021年11月、海外サポート体制の強化を目的に、従来の「シンガポール駐在員事務所」の機能を拡充して「シンガポール支店」を開設するとともに、ベンチャービジネスへの取組強化をめざし、地方銀行として初めて米国シリコンバレー地区に「シリコンバレー駐在員事務所」を新設しました。今後は、海外ネットワークの拡充や機能強化を図り、お客さまの事業展開に応じた多様な金融ソリューションの提供に取り組めます。

静岡銀行グループ海外拠点
(海外支店：3、駐在員事務所：2、現地法人：1、提携金融機関：16)



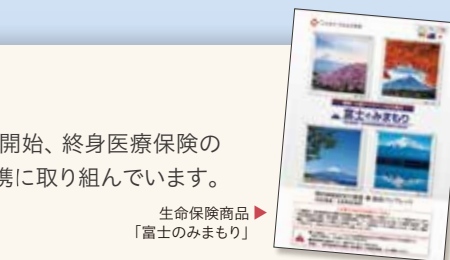
*シリコンバレー駐在員事務所の新設にともないロスアンゼルス支店の預貸金業務などを終了し、ニューヨーク支店が引継店として、お客さまのご要望にお応えしています。

■ 「静岡・山梨アライアンス」の取り組み

アライアンス記念私募債「FUJIBON(フジボン)」の取扱開始、終身医療保険の共同開発、相続手続きの共通化など、幅広い分野での連携に取り組んでいます。

2021年度上期のおもな協業事業

地方創生	アグリビジネススクールの開講、中部横断自動車道全線開通記念パネルの設置、個別商談会の実施、移住・定住セミナーなど各種セミナーの実施
コーポレート戦略	アライアンス記念私募債「FUJIBON」取扱開始
ライフプラン戦略	静銀ティーエム証券山梨本店オープン アライアンス保険商品「富士のみまもり」取扱開始
国際戦略	「海外ビジネスサポート業務に関する協定」の締結 香港支店に山梨中央銀行からの行員受け入れ
店舗戦略	ATM相互利用の無料化
事務共同化	相続手続きの共通化
各種交流会の実施	「Shizuginship」「山梨ちゅうぎん経営者クラブ」への相互参加や、若手行員や内定者の交流会実施



生命保険商品
「富士のみまもり」



◀ 個別商談会



移住・定住
セミナー

■ 静銀ITソリューション(株)が「地域企業へのIT化支援業務」を開始

2021年7月から、地域企業の生産性向上を支援する「IT化支援業務」を開始しました。

おもな支援内容

- 業務システムやRPA(業務自動化ツール)導入による「業務効率化・生産性向上の支援」
- 在宅勤務システムやクラウドサービスの活用による「働き方改革」「コロナ対策支援」
- 外部事業者と連携した「IT導入補助金申請の支援」「IT関連セミナーの開催」

ヤマハ発動機(株)と「人材交流に関する連携協定」を締結

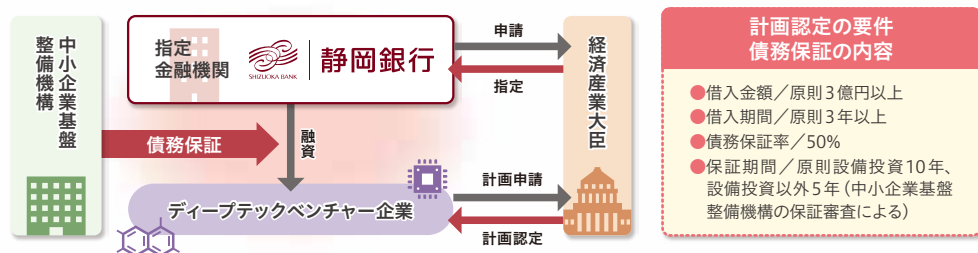
2021年9月、地域企業の課題解決に資する人材交流の活性化をめざして「連携協定書」を締結しました。本協定に基づき、実務経験豊富な即戦力人材を求める全国の企業をヤマハ発動機(株)に紹介し、人材マッチングに取り組みます。

ヤマハ発動機(株)では、社員の約9割が静岡県外出身者のため、セカンドキャリア等の希望勤務地が全国にわたる場合があります。静岡銀行では、全国の地方銀行と連携して、専門的なスキルを有する人材を求める地域企業とのマッチングに取り組みます。こうした活動を通じて、ヤマハ発動機社員のセカンドキャリアの形成、受け入れ先企業の事業成長を支援していきます。



地方銀行初！「ディープテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」の指定金融機関等に指定

半導体、バイオテクノロジーなど先端技術の研究開発に取り組む「ディープテック(大規模研究開発型)ベンチャー」の支援に向けて、経済産業省が新設した債務保証制度の指定金融機関に指定されました。今後は、資金面での支援に加えて、ビジネスマッチングや経営コンサルティングなど、総合的な金融サービスの提供を通じて、地域における新たな協業やイノベーションの創出をめざします。



- 計画認定の要件
債務保証の内容
- 借入金額／原則3億円以上
 - 借入期間／原則3年以上
 - 債務保証率／50%
 - 保証期間／原則設備投資10年、設備投資以外5年(中小企業基盤整備機構の保証審査による)

秦野支店 グランドオープン！

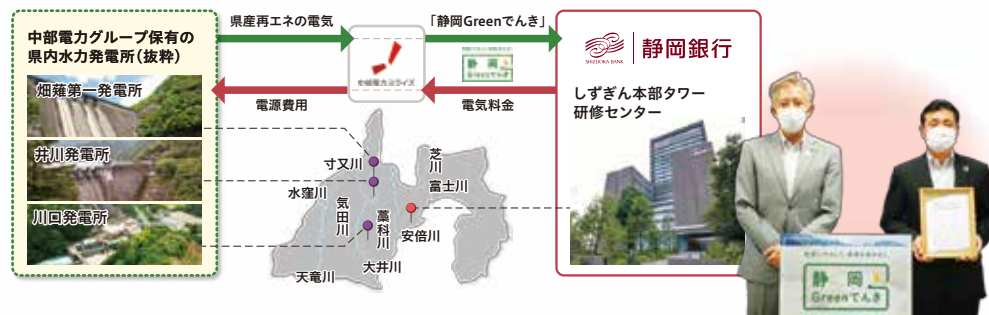


待合用のロビーをなくし、相談スペースを充実させるとともに、相続など専門性の高い相談に連隔で対応できる相談端末を設置

2021年9月、神奈川県内で19店舗目となる「秦野支店」をオープン。小田急線秦野駅北口の「秦野アルファビル」1階に入居した店舗には、常設窓口を設置せず、お客さまにゆっくりご相談いただける応接室など相談スペースをメインとした店舗レイアウトにしました。

静岡県内初！再生可能エネルギー「静岡Greenでんき」の導入を開始

2021年8月、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、「しずぎん本部タワー」と「研修センター」で使用する電力として、中部電力ミライズ(株)と「静岡Greenでんき」の需給契約を締結しました。これにより、年間1,800トン程度のCO₂排出量の削減を見込んでいます。



柴田頭取が全国地方銀行協会会長に就任



柴田 久頭取が全国地方銀行協会の会長に就任し、6月16日にオンライン会見を行いました。席上、主要テーマとして、ニューノーマル(新常态)な環境下でのビジネスモデルの確立、デジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組み、持続可能な開発目標(SDGs)に基づく将来事業の創造を掲げ、「地域経済を取り巻く環境は厳しいが、地方銀行それぞれの挑戦や創意工夫などを通じて、持続可能な地域づくりに取り組んでいきたい」と抱負を述べました。

熱海市、静岡県に義援金を寄付



本年7月の大雨被害の被災者支援や復旧・復興に役立てていただくため、義援金を寄付しました。また、消費者の立場から熱海地域のお取引先を支援するため、グループ役職員に対して「買って応援！エール熱海プロジェクト」として、商品の販売斡旋に取り組んでいます。

- 静岡銀行グループ 4,000万円 (熱海市へ3,000万円、静岡県へ1,000万円寄付)
- 静岡銀行グループ役職員一同 2,865,000円(熱海市へ寄付)
- 第71回しずぎんユフォニア・コンサート入場料 158,000円(熱海市へ寄付)



TECH BEAT Shizuoka for Blue and Green Economy を開催

静岡発のイノベーション創出をめざしてスタートした「TECH BEAT Shizuoka」。

6回目を迎えた今回は、農林水産・海洋分野に特化した商談会を開催しました。豊かな自然環境に恵まれた静岡県の海洋資源などを活用し、スタートアップ企業とのコラボレーションを通じて、新事業の創出や生産性の向上につながる取り組みを支援しています。



【開催日】2021年8月30日
【参加登録者数】692名
【総視聴回数】2,494回（アーカイブ配信含む）

参加者の声

- オンライン開催でもリアル感があって、出演者の課題認識が伝わってくるなど、たいへん刺激を受けた
- 有効なビジネスマッチングを行える可能性を感じた
- さまざまな課題、実例などが聞けて、今後の参考となった



〈基調講演〉(株)ユージェナ
代表取締役社長 出雲 充氏

驚異的な栄養価の高さで生態系を支えるミドリムシの大量培養に世界で初めて成功し、食品やバイオ燃料の開発に挑戦している(株)ユージェナ。イノベーション創出に必要なポイントや失敗を重ねてもあきらめず繰り返し努力することの大切さについてお話いただきました。



しずおかキッズ・アカデミー ～いつまでも胸を張って郷土の魅力を伝えていくために～

地域の子どもたちが、ふるさとの魅力を楽しみながら郷土愛を育み、将来的にふるさとに定住し、地域を担う人材へ成長することを目的に開催しています。

@いとう 漁業体験

【開催日】2021年7月28日
【会場】富戸港（伊東市富戸987）
【参加者】57名（伊東市在住の小学5.6年生45名、中高生リーダー12名）

～漁業体験 富戸の海の宝を探せ!!～

- 海の講義（沿岸の魚や潜水漁法、海でのルールなど）
- 体験（素潜り、漁船乗船、シュノーケリング）



with やまなし 親子スイーツづくり 友好都市「袋井市・北杜市」の魅力再発見!

【開催日】2021年8月21日
【会場】オンライン開催
【参加者】46名（袋井市在住の親子29名、北杜市在住の親子17名）

～地元フルーツで親子スイーツづくりに挑戦!～

- 袋井市の「クラウンメロン」、北杜市の「ブルーベリー」を使ったパティシエ直伝の親子スイーツづくり



静岡・山梨アライアンス ～両地域の活性化をめざして～

個別商談会の開催

両行のお取引先をサプライヤーとする「個別商談会」を開催しています。互いの幅広いネットワークを活用してお取引先の販路拡大を支援するとともに、両県の特産品などの消費拡大に取り組んでいます。



静岡・山梨アライアンス
Shizuoka-Yamanashi Alliance

2021年度上期に実施した商談会		参加企業	商談件数
5月	(株) 静鉄ストア	45社	45件
6月	NEXCO中日本サービスエリア・パーキングエリアテナント	32社	79件
7月	(株) マキヤ	29社	29件
7月	(株) 遠鉄ストア	35社	35件
9月	(株) アmano	30社	30件



中部横断自動車道の全線開通記念パネルを設置

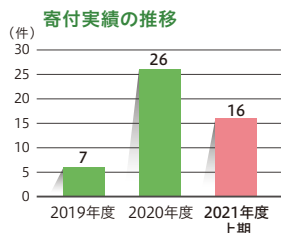
両行の本店営業部に、中部横断自動車道沿線の地産品や観光スポットを紹介する「情報発信スペース」を設置しました。こうしたPR活動を通じて、さらなる交流人口の増加やモノの流通拡大を図るなど、両地域の活性化に取り組んでいます。

地域貢献私募債「じもと愛」～かけがえのない私たちの地域のために～

静岡銀行がお客さまから受け取る私募債発行手数料の一部（発行金額の0.1%相当額）を地域の自治体や公益信託などに寄付する地域貢献私募債「じもと愛」。静岡銀行では、お客さまの資金調達を支援するとともに、地域貢献活動へのニーズにお応えしています。



▲ 科学技術高校に非接触型検温器などを寄付（第一建設(株)）



お客さまの希望をもとに寄付先を決定します

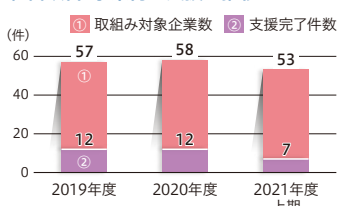
〈寄付対象先の公益信託〉

- 新型コロナウイルスに打ち勝つ 静岡県民支え合い基金
- 磐田農業教育振興基金
- 公益財団法人日本盲導犬協会「富士ハーネス」
- 静岡県災害ボランティア活動ファン
- スクール女性ボランティア基金
- 夢和設備創立記念奨学基金
- 市川園社会福祉基金
- 山崎竹司郎学業支援基金
- しずぎんふるさと環境保全基金

経営サポート

静岡銀行グループでは、外部機関と連携しながら資金繰り支援にとどまることのない「経営改善・事業再生支援」に取り組んでいます。

経営改善・事業再生支援の推移



経営サポート支援実績 (2020年4月～2021年9月末)

- M&A 29件
- 資本性ローンの活用 9件・26億円
- 再生ファンドの活用 2件

※2005年度以降、約250社の事業再生を完了し、約26,000名の地域の雇用を確保



サポート事例 1

自主再建に取り組まれている冷凍倉庫事業を営むお客さま。約4年前に経営を引き継がれた現社長が主導して経営改善に取り組み、一定の収益力を確保できる水準まで業績は改善されたものの、過去からの累積赤字を起因に債務超過の状態にありました。現在、静岡銀行や静岡キャピタル、お客さまの顧問弁護士など関係者が連携して事業再生支援に取り組んでいます。

知識と経験を積み重ね 全力で支えていきたい



企業サポート部
企業経営サポートグループ
古屋 翔太

私が事業再生支援に取り組む際に心がけているのは、「お客さまが抱える問題点や課題を正確に把握したうえで、もっとも適切な支援策を提案すること」です。このお客さまの場合、大手企業との取引で決算内容の開示が求められること、事業運営上必要不可欠な許認可が通常より短い更新期間になっている、その情報がインターネットで公開されていたこと、メインの金融機関から具体的な支援策が提示されていなかったことから、今後の事業展開を見据え、債務超過の

早期解消を強く希望されていました。そこで、静岡キャピタルと県内12金融機関などが設立した「静岡中小企業支援ファンド」等を活用した支援策を提案させていただきました。現在は、再生計画に基づいた事業改善に、お客さまに寄り添い、伴走しながら取り組んでいます。これから地域金融機関として、どのような時も地域のお客さまを全力で支えられるよう、私自身もさらに知識と経験を積み重ねていきたいと思えます。

地域経済の活性化と地域の雇用維持をめざして

静岡銀行から相談を受け、お客さまの要望である債務超過を早期に解消し、現経営陣の体制を維持していくためには、「静岡中小企業支援ファンド」による株式出資（第三者割当増資の引受）での支援が最適なスキームだと判断しました。

しかしながら、ファンドで引き受けた株式は、将来的にお客さまなどに買い取っていただく必要があります。そのため、株式出資以降も、銀行の担当者とともに定期的に経営者とコミュニケーションを重ねるなど、将来の財務基盤・資金調達力の確保に向けて、いっしょに

なって考えて取り組んでいるところです。

事業計画は順調に進んでいることもあり、社長から「今後、大手企業から決算書の開示を求められたら、胸を張って見せられるよ」と言っていた時は、担当者として、とてもうれしく感じました。

静岡キャピタルでは、このほかにもファンドを通じた融資や社債の引受など、お客さまの課題解決に向けたさまざまな支援策の提供が可能です。今後も、こうした取り組みを通じて、静岡県経済の活性化や地域の雇用維持につなげられるよう、精いっぱい取り組んでいきます。

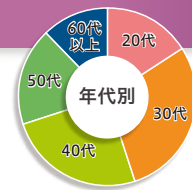
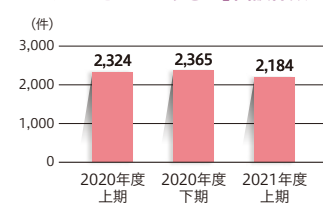


静岡キャピタル(株)
稲葉 理晃

ライフプランサポート

「ほけんの窓口@しずぎん」では、お客さま一人ひとりのライフプランのご相談に、きめ細かくお応えしています。

「ほけんの窓口@しずぎん」面談件数の推移



相談内容

- 既契約の内容確認
- 保険の見直し
- 保険の新規加入

サポート事例 2

お子さまの口座開設に来店されたお客さまは、ご家族の将来設計を見据えて、生命保険や学資保険など、今後のライフプランを検討したいと考えていらっしゃいました。ほけんの窓口グループとの提携店舗「ほけんの窓口@しずぎん」と連携して、お客さまのご希望をうかがいながら、最適な保険プランをご提案しています。



お客さまに喜んでいただけるご提案を心がけて



登呂支店
広瀬 文乃

お客さまのなかには、将来への漠然とした不安を抱えている方は多くいらっしゃいます。また、結婚や出産、マイホームの取得などを契機に、あらためてご家族のライフプランを検討されるケースも多く、こうしたお客さまに対して、「ほけんの窓口@しずぎん」をご紹介することがあります。もちろん、私も店頭やご自宅を訪問して、お客さまの時間の許す限りお話をうかがい、ご希望に沿った金融商品やサービスのご案内をしています。どうしても時間の制約があつて十

分にお話ができないことがあります。こうした時に、休日でもゆっくりとご相談いただける「ほけんの窓口@しずぎん」と連携しています。後日、お客さまに「ほけんの窓口@しずぎん」との面談の感想をお聞きすると、「ていねいに話を聞いてくれてうれしかったし、漠然としていた将来の不安を整理することができてよかった」と喜んでいただけました。今後も、静岡銀行グループがもつ機能をフルに活用しながら、お客さまに喜んでいただけるご提案を心がけていきたいと思えます。

ともに最適なライフプランを描いていきたい

「ほけんの窓口@しずぎん」は土日も営業していますので、お仕事や育児などで平日の面談が難しいお客さまにも来店いただきやすいと思います。また、面談では2時間ほどかけて、お客さまの将来に対するご希望や不安をていねいにお聞きすることから始めています。

時には、こうした私たちの姿勢を評価していただき、以前ご自身の保険の見直しを相談されたお客さまが、「今度は妻の保険についても相談にのってほしい」と来店されることがあります。このように、当店を信頼して相談いただ

けることは何よりもうれしいですし、仕事のやりがいにもつながっています。

私は、「ほけんの窓口@しずぎん」の強みは、お客さまのご要望や不安に寄り添い、ともに最適なライフプランを描くことだと考えています。お話をうかがった結果、他の金融商品がお客さまのご希望に添うのであれば、私たちが静岡銀行の営業店をご紹介することもあります。

多くのお客さまに「ほけんの窓口@しずぎん」のサービスを体感していただきたいので、ぜひ、お気軽に声をかけてください。



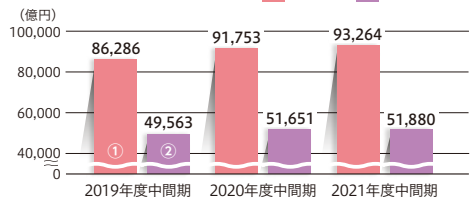
ほけんの窓口@しずぎん
東静岡店
後藤 有美

営業のご報告

貸出金

2021年度中間期の貸出金の残高(平残)は、前年同期比1,511億円増加し、9兆3,264億円となりました。

貸出金残高(平残)の推移 ① 銀行全体 ② うち静岡県内

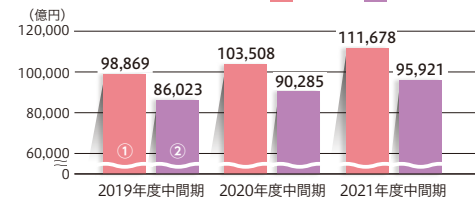


貸出金(平残)のうち静岡県内の割合 **55.6%**

預金

2021年度中間期の預金残高(平残)は、前年同期比8,170億円増加し、11兆1,678億円となりました。

預金残高(平残)の推移 ① 銀行全体 ② うち静岡県内



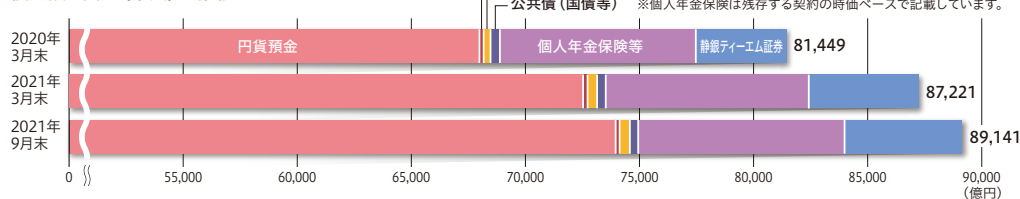
預金(平残)のうち静岡県内の割合 **85.8%**

個人預り資産

2021年9月末の静岡ティーエム証券を含む個人預り資産の残高は、2021年3月末から1,920億円増加し、8兆9,141億円となりました。



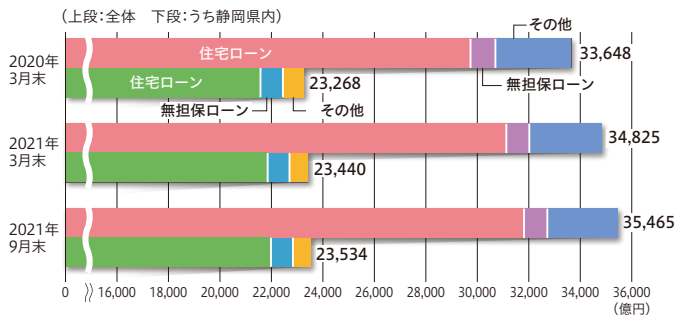
個人預り資産(末残)の推移



ローン

2021年9月末の個人のお客さま向けローンの残高は、3兆5,465億円で、住宅ローンを中心に、2021年3月末より640億円増加しました。

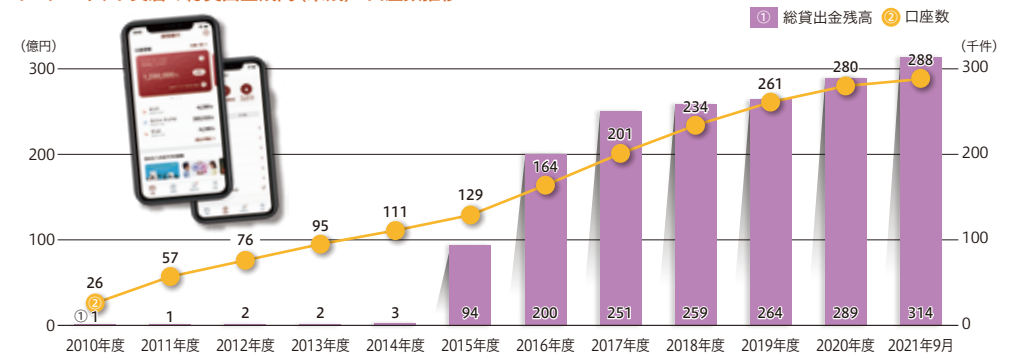
- ローンの内訳
 - 住宅ローン
 - 無担保ローン
 - その他(資産形成ローン等)
 - うち静岡県内
 - 住宅ローン
 - 無担保ローン
 - その他(資産形成ローン等)
- ※「住宅ローン」はアパートローンを含む



インターネット支店

セブン銀行ATM手数料の無料化やカードローン「セレカ」の取り扱いなど、インターネット支店限定の商品・サービスを提供し、2021年9月末の口座数は28万口座を超え、総預金残高4,562億円、総貸出金残高314億円となりました。また、公式アプリ「しずぎんWebWalletアプリ」は、ID・パスワードの代わりにスマートフォンの機能に応じた生体認証によるログインが可能など、より簡単に、より便利にご利用いただけます。

インターネット支店の総貸出金残高(末残)・口座数推移



次世代経営者塾 Shizugin:ship ~経営者としてのスキルを磨き、生涯の友人と出会う場所

2021年度の活動実績 参加人数のべ **843**名 会員数 **715**社 **1,057**名(2021年9月末現在)

内容	開催実績
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	15回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	9講座14回
〈特別企画〉アオハルし放題(高校生とのコラボ企画)	1講座1回

ハイブリットセミナー 逆境に負けない強い中小企業の在り方

【開催日】2021年7月14日
【講師】(株)minitts

代表取締役 中村朱美氏



ハイブリットセミナー 「イノベーションを起こす武器」としてのリベラルアーツ

【開催日】2021年7月31日
【講師】独立研究者、著作家、パブリックスピーカー 山口周氏

参加者の声 /

- 久しぶりに会場で聴講したため、講師の想いがダイレクトに伝わってきて、頭にも心にも響くセミナーだった
- 多様性が求められる社会のなかで生きていく術を感じ取ることができた
- 非常に示唆に富む内容で、固定概念にとらわれず、さまざまな文化や価値観を身につける必要性を感じた



参加者の声 /

- 講師のエネルギーで前向きな人柄がとてよかった
- コロナ禍における戦略の立案から実行に至るまでのお話は非常に参考になった
- 従業員のモチベーションを高め、自ら考える力を養うための経営手法はとても興味深く、今後の参考にしたい

*前年度に引き続きオンライン中心の開催となりましたが、会員の交流の場として会場での聴講も一部再開しました。

地域社会への貢献

文化・スポーツの振興



しずぎんユーフォニア・コンサート

国内外の一流アーティストを招いて開催する「しずぎんユーフォニア・コンサート」は、1993年のスタート以来71回を数え、地域の皆さまにお楽しみいただいています。

※従来、入場料収入は、公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」に寄付していますが、第71回のコンサートについては、大雨による被災地支援として、熱海市に寄付させていただきました。



第71回 佐藤和哉・妹尾武 (2021年7月 静岡市)

富士山静岡交響楽団

オフィシャルパートナーとして、静岡県を代表するオーケストラの活動を支援しています。



静岡銀行 presents「クラシック・ポップスコンサート」(2021年5月 静岡市)

しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしています。



第25回 桂米團治 (2021年1月 静岡市)

しずぎんカップ

少年サッカー

11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しずぎんカップ静岡県ユースU11サッカー大会」、全国各地から小学生が清水に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。



少年野球

静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に「しずぎんカップ」として協賛しています。



金融経済教育への取り組み



金融講座

常葉大学、静岡産業大学で「金融講座」を開講しています。静岡銀行グループの従業員が講師を務め、地域金融機関が静岡県経済に果たす役割などを解説し、これまでに約2,800名の大学生が受講しています。このほか県内の学校などで、金融や経済に関する教育機会の提供に取り組んでいます。



「エコノミクス甲子園」静岡大会

高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」静岡大会を開催。これまでに静岡県内の高校から240チーム・480名が参加しています。

11回目を迎えた本年度は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン形式で開催します。



静岡魅力探究プログラム「アオハルし放題」

次世代経営者塾「Shizuginship」が、地域人材育成および交流の深化に向けた取り組みの一環として、静岡県内の高校生を対象に静岡魅力探究プログラム「アオハルし放題」を開催。高校生とShizuginship会員がチームを組み、静岡の「食」と「まちづくり」をテーマに魅力あふれる企画作りに挑戦しています。



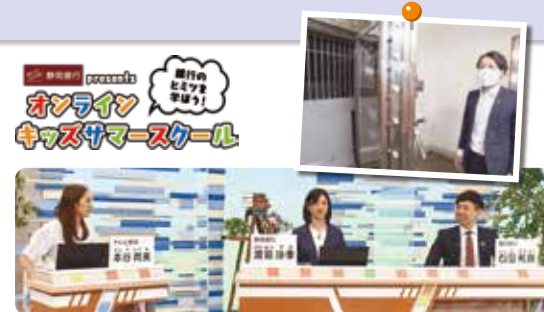
参加高校	13校・58名
参加企業	4社・17名
テーマ	①静岡茶/静岡抹茶×スイーツのヒット商品を開発せよ! ②静岡ファンを増やすまちづくりを企画せよ!

オンライン キッズサマースクール

静岡県内の小学生を対象に、オンラインで、本店営業部の店内や金庫のなかの様子を見学したり、クイズ形式で楽しみながらお金のため方や使い方などを学ぶ「キッズサマースクール」をテレビ静岡と共同開催しました。

開催日	2021年8月20日
参加者	50名(静岡県内の小学生)

銀行の
とびっさ
なまなま
オンライン
キッズサマースクール



環境への取り組み

～豊かな自然環境を次の世代へ引き継ぐために



地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」の実践に向けて、地域の環境保全に取り組んでいます。

「サステナブルファイナンス目標」を設定

事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組む地域企業を積極的に支援するため、「サステナブルファイナンス目標」を設定しました。2021年上期のサステナブルファイナンス実行額は、511億円(うち環境ファイナンス226億円)となりました。



サステナブルファイナンスとは

持続可能な社会の実現に向けたお客さまのESG(環境・社会・ガバナンス)、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを支援する資金供給

おもな商品ラインアップ

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

企業活動が環境・社会・経済に与える影響を分析、評価し、ポジティブな影響を与える活動を支援する融資

サステナビリティ・リンク・ローン

企業活動が環境・社会・経済に与える影響と関連する定量的・野心的な取組目標を設定し、その達成状況に応じて金利が変動するローン

グリーンローン、ソーシャルローン サステナビリティローン

環境あるいは社会、または両方の課題解決に向けた取り組みを支援するローン

※2021年上期までの累計は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス12件・33億円、サステナビリティ・リンク・ローン1件・3億円を実行しました。

特定セクターに対する投融資方針を制定

2021年4月、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの強化を目的に、環境負荷が高いとされる石炭火力発電への投融資を原則として実施しないことなどを盛り込んだ「投融資方針」を制定しました。これに基づき、石炭火力発電向け投融資残高について、2040年度をめどに「ゼロ」とする目標を設定しています。

「静岡銀行グループ環境方針」を改定

2021年4月、気候変動の影響をめぐる国際情勢や企業動向を反映し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの強化を目的に、「グループ環境方針」を改定しました。これにより、2030年度における静岡銀行グループの温室効果ガス排出量削減目標を「2013年度比60%の削減」と定めて、環境負荷の低減に努めています。

「しずぎんECO口座」開設にともなう寄付

紙の通帳を発行しない「Web総合口座」と、インターネット支店専用口座「WebWallet」の2商品を生かしてECO口座として推進しています。

2021年度は、「静岡・山梨アライアンス」の取り組みの一環として、両行における通帳レス口座の開設件数に応じた紙の削減費用の一部を「富士山基金」に共同で寄付する取り組みを開始しました。

共同寄付金額

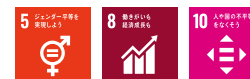
2021年度上期

927,950円



だれもがイキイキと働ける職場づくり

～従業員満足の上をめざして



多様な価値観をもつ従業員一人ひとりが、それぞれのライフステージに合わせた働き方を実現するとともに、チャレンジできる職場づくりに取り組んでいます。

「人事制度改革」の実施

約20年ぶりに人事制度を改定し、2021年10月から運用を開始しました。本制度を通じて、「自ら考え行動し、多様な意見を認め合いながら挑戦し続けることができる組織づくり」に取り組んでいます。

おもな改定内容

- 評価制度の刷新
- 新たなキャリアルートの新設
- 副業・兼業の拡大
- ダイバーシティ実現に向けた制度改革
- 健康ポイントインセンティブプログラムの導入
- 社内ベンチャー制度の新設
- ベテラン人材の活躍推進



ダイバーシティ&インクルージョン推進への取り組み

■ダイバーシティ推進委員会の設置

多様な経験・知見・価値観を受け入れ、新たな価値を中長期的に創出する多様性の確保、浸透を図るため、ダイバーシティ推進委員会を設置しました。ベテラン人材、キャリア採用者など、異なるバックグラウンドをもつメンバーで構成し、女性の活躍推進や障がい者の雇用拡大に加え、従業員一人ひとりの経験やキャリア、価値観を認め合う文化風土の醸成に向けて、組織横断的な課題の抽出と対応策の検討、策定に取り組んでいます。

■男性育児休業取得の推進



男性の育児参画の促進、女性に偏る育児負担の是正とキャリア中断の極小化などをめざし、(株)ワーク・ライフバランス(代表 小室淑恵氏)が主催する「男性育休100%宣言」に賛同しています。「男性の育児休業取得率100%以上かつ平均取得期間5日以上」を目標に掲げ、仕事と育児の両立支援を推進しています。また、育児関連施策を「いくさぼプログラム(育児サポートプログラム)」と総称し、さらなる制度の拡充をめざしています。

男性の育児休業取得状況	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度上期
取得率	82.1%	62.9%	63.6%	64.7%	75.0%
平均取得期間	1.7日	1.9日	5.2日	2.8日	9.0日

■ライフスタイルセレクト制度の新設

自身のライフステージに合わせて、働き方を自ら考え実践する自律した行動を支援する「ライフスタイルセレクト制度」を新設しました。

ムーブスタイル・ホームスタイル
転勤時の転居の有無を
選択できる

45スタイル
通勤時間を45分以内に
希望できる

おもな
制度内容

ペアスタイル
夫婦で勤務する場合、どちらかが
転勤になっても同居が可能となる

職務スタイルセレクト
職務範囲の選択が
可能となる

第116期 営業の中間ご報告

基本理念 | 地域とともに夢と豊かさを広げます。

静岡銀行の概要

2021年9月30日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	9兆3,433億円
預金	11兆3,084億円
総資産	14兆4,227億円
連結自己資本比率	16.60%
	うちCET1(普通株式等Tier1)比率 16.60%
従業員	2,894人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	208店舗 静岡県内 173(本支店152・出張所21) 静岡県外 32(支店26・出張所6) 海外 3(支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

邦銀トップ水準の格付

2021年9月30日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。

	長期格付
ムーディーズ	A1
スタンダード&プアーズ	A-
格付投資情報センター	AA-

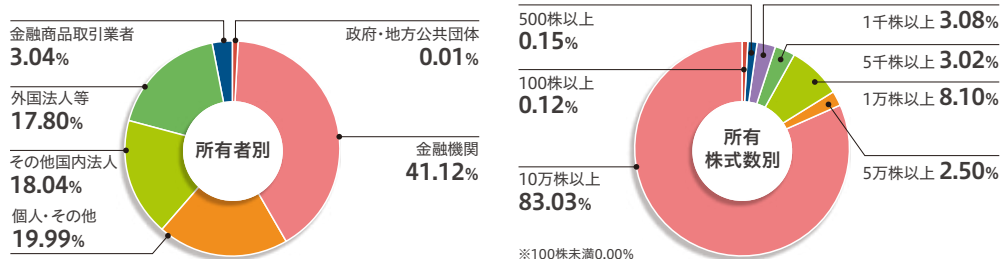
株式情報

2021年9月30日現在

株式の状況

株主数	21,640名 (2021年3月末比742名減)	発行済株式の総数	595,129,069株
		保有自己株式数	30,980,619株

株式の分布状況(単元未満株式を含む)

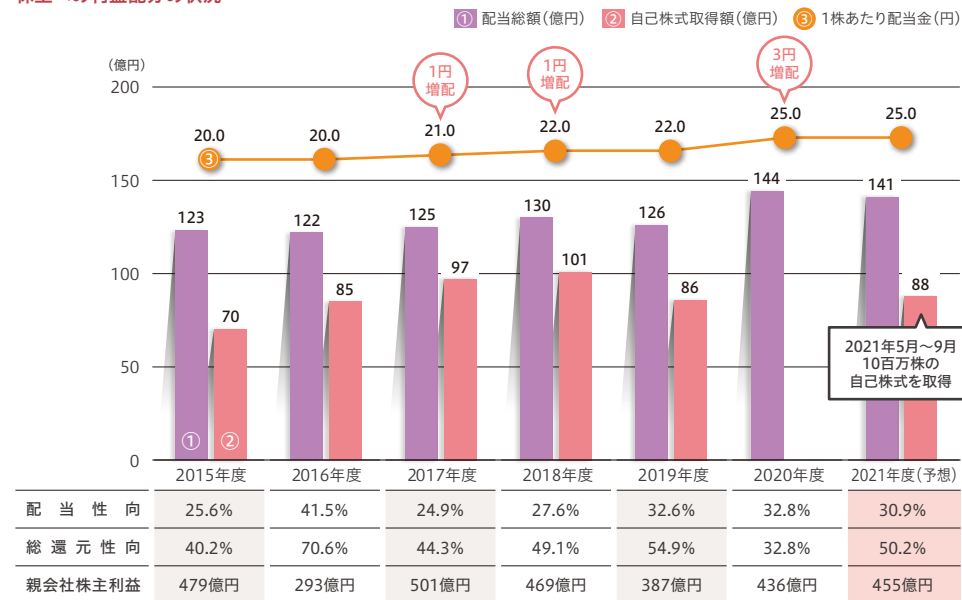


株主還元の様況

DATA.01

第14次中期経営計画(2020~2022年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%以上(連結ベース)」に則り、2021年度の1株当たり配当額(年間)は公表どおり25円を予定しています。

株主への利益配分の状況

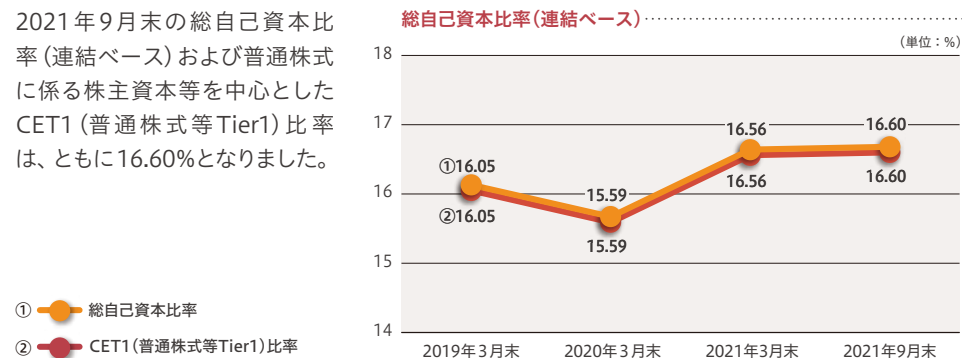


健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準)

DATA.02

自己資本比率<国際統一基準>は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

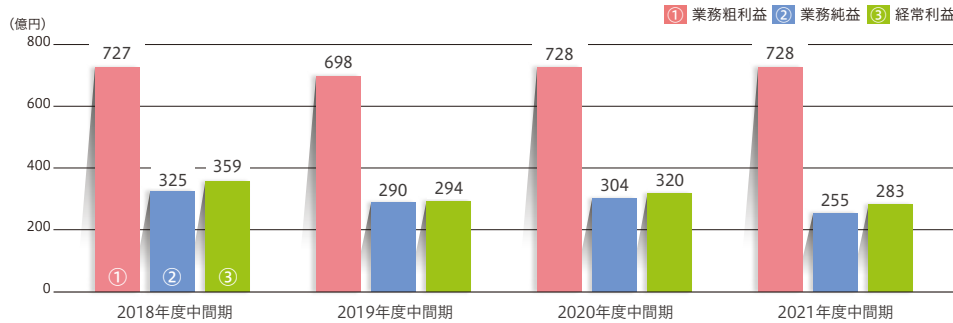
2021年9月末の総自己資本比率(連結ベース)および普通株式に係る株主資本等を中心としたCET1(普通株式等Tier1)比率は、ともに16.60%となりました。



業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2021年度中間期の業務粗利益は、資金利益が増加したものの役務取引等利益や国債等債券関係損益が減少し、ほぼ横ばいでの推移となりました。業務純益は、次世代システム稼働にともなう経費の増加により減益。経常利益は、不良債権処理額の減少等により臨時損益が増加したものの、業務純益の減益などを主因に減益となりました。



主な経営指標(単体ベース)

(単位:%)

	2018年度中間期	2019年度中間期	2020年度中間期	2021年度中間期	前年同期比
ROE(中間純利益)	5.86	4.49	4.59	4.77	0.18
ROA(中間純利益)	0.51	0.37	0.35	0.36	0.01
OHR(経費/業務粗利益)	56.88	58.05	55.70	62.27	6.57
1株当たり中間純利益(円)	47.80	37.41	38.70	43.44	4.74

- 前年同期比は、表上で算出しています。
- ROE(当期純利益)は決算短信ベースにて算出しています。
- 2021年度中間期の連結ベースROE(親会社株主に帰属する中間純利益)は4.92%です。

ROE
[Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

ROA
[Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

OHR
[Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

有価証券評価損益の状況

DATA.04

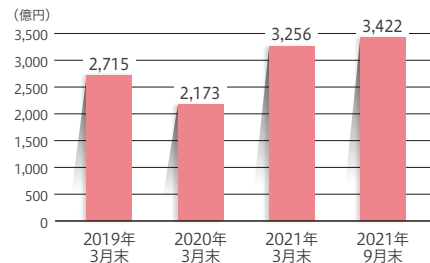
2021年9月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+3,422億円と2021年3月末に比べ166億円増加、うち株式評価損益は+3,335億円と2021年3月末に比べ121億円増加しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

日経平均株価

2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末	2021年9月末
21,205.81円	18,917.01円	29,178.80円	29,452.66円

有価証券評価損益(単体ベース)

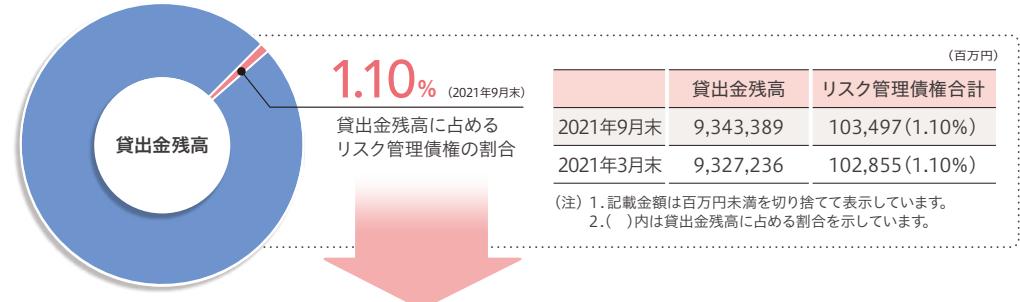


リスク管理債権等の状況

DATA.05

リスク管理債権の状況(単体ベース)

2021年9月末のリスク管理債権の総額は1,035億円、貸出金残高に占める割合は1.10%と低水準を維持しています。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は83.11%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額76億円、信用保証協会の保証付貸出金390億円、担保・引当金等394億円を控除した実質的なリスク管理債権は175億円で、貸出金残高に占める割合は0.18%です。

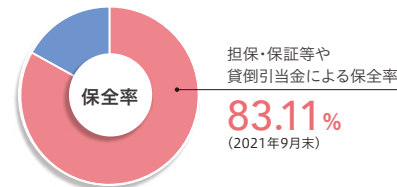


(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2.()内は貸出金残高に占める割合を示しています。

リスク管理債権の内訳

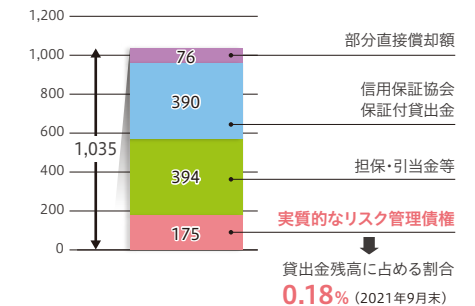
(百万円)

破綻先債権額	1,902 (0.02%)
延滞債権額	87,292 (0.93%)
3カ月以上延滞債権額	403 (0.00%)
貸出条件緩和債権額	13,898 (0.14%)



実質的なリスク管理債権

(億円)



金融再生法開示債権の状況(単体ベース)

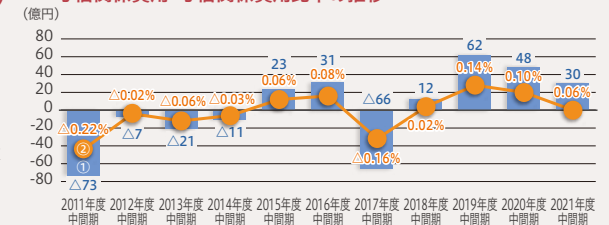
2021年9月末の「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」施行規則にもとづく開示債権の総額は1,035億円、総与信残高に占める割合は1.09%、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は83.12%となっています。

与信関係費用の状況(単体ベース)

2021年度中間期の与信関係費用は30億円となりました。

- 与信関係費用
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益
- 与信関係費用比率
= 与信関係費用 / 貸出金平残

与信関係費用・与信関係費用比率の推移



決算情報 しずぎんの決算(連結・単体)をお知らせします。

(単位: 百万円)

中間貸借対照表(連結)

科目	2021年度中間期末	科目	2021年度中間期末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	2,320,927	預金	11,256,986
コールローン及び買入手形	166,635	譲渡性預金	121,514
買入金銭債権	35,106	コールマネー及び売渡手形	168,605
特定取引資産	18,559	売現先勘定	234,217
金銭の信託	104,800	債券貸借取引受入担保金	185,426
有価証券	2,148,344	特定取引負債	2,814
貸出金	9,301,158	借入金	1,016,327
外国為替	9,488	外国為替	397
リース債権及びリース投資資産	81,992	社債	34,023
その他資産	154,484	新株予約権付社債	33,585
有形固定資産	56,497	信託勘定借	202
無形固定資産	48,782	その他負債	138,551
退職給付に係る資産	14,049	退職給付に係る負債	3,286
繰延税金資産	3,146	役員退職慰労引当金	324
支払承諾見返	81,817	睡眠預金払戻損失引当金	1,012
貸倒引当金	△52,897	偶発損失引当金	1,318
投資損失引当金	△54	ポイント引当金	549
		特別法上の引当金	11
		繰延税金負債	83,973
		支払承諾	81,817
		負債の部合計	13,364,945
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		利益剰余金	761,981
		自己株式	△29,030
		株主資本合計	878,681
		その他有価証券評価差額金	242,784
		繰延ヘッジ損益	499
		為替換算調整勘定	1,337
		退職給付に係る調整累計額	2,816
		その他の包括利益累計額合計	247,437
		新株予約権	318
		非支配株主持分	1,458
		純資産の部合計	1,127,895
資産の部合計	14,492,840	負債及び純資産の部合計	14,492,840

中間損益計算書(連結)

科目	2021年度中間期
経常収益	116,237
資金運用収益	62,915
(うち貸出金利息)	48,809
(うち有価証券利息配当金)	13,269
信託報酬	0
役務取引等収益	36,689
特定取引収益	1,964
その他業務収益	4,863
その他経常収益	9,804
経常費用	82,855
資金調達費用	3,036
(うち預金利息)	1,028
役務取引等費用	20,952
その他業務費用	2,274
営業経費	49,845
その他経常費用	6,745
経常利益	33,381
特別利益	5,494
特別損失	66
税金等調整前中間純利益	38,809
法人税、住民税及び事業税	10,284
法人税等調整額	953
法人税等合計	11,238
中間純利益	27,571
非支配株主に帰属する中間純利益	41
親会社株主に帰属する中間純利益	27,529

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間貸借対照表(単体)

科目	2021年度中間期末	科目	2021年度中間期末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	2,295,199	預金	11,308,412
コールローン	166,635	譲渡性預金	130,314
買入金銭債権	35,106	コールマネー	168,605
特定取引資産	17,338	売現先勘定	234,217
金銭の信託	104,800	債券貸借取引受入担保金	185,426
有価証券	2,156,741	特定取引負債	2,817
貸出金	9,343,389	借入金	986,356
外国為替	9,030	外国為替	402
その他資産	124,193	社債	34,023
有形固定資産	52,602	新株予約権付社債	33,585
無形固定資産	49,398	信託勘定借	202
前払年金費用	10,572	その他負債	97,330
支払承諾見返	104,974	退職給付引当金	2,163
貸倒引当金	△47,150	役員退職慰労引当金	215
投資損失引当金	△54	睡眠預金払戻損失引当金	1,012
		偶発損失引当金	1,318
		ポイント引当金	490
		繰延税金負債	82,045
		支払承諾	104,974
		負債の部合計	13,373,913
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		資本準備金	54,884
		利益剰余金	689,329
		利益準備金	90,845
		その他利益剰余金	598,484
		自己株式	△29,030
		株主資本合計	806,029
		その他有価証券評価差額金	242,053
		繰延ヘッジ損益	463
		評価・換算差額等合計	242,517
		新株予約権	318
		純資産の部合計	1,048,865
資産の部合計	14,422,778	負債及び純資産の部合計	14,422,778

中間損益計算書(単体)

科目	2021年度中間期
経常収益	91,471
資金運用収益	64,928
(うち貸出金利息)	48,838
(うち有価証券利息配当金)	15,252
信託報酬	0
役務取引等収益	15,932
特定取引収益	501
その他業務収益	4,872
その他経常収益	5,236
経常費用	63,142
資金調達費用	3,090
(うち預金利息)	1,075
役務取引等費用	8,116
その他業務費用	2,274
営業経費	45,421
その他経常費用	4,240
経常利益	28,328
特別利益	5,974
特別損失	66
税引前中間純利益	34,236
法人税、住民税及び事業税	8,695
法人税等調整額	682
法人税等合計	9,377
中間純利益	24,859

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

決算情報の開示について

静岡銀行では、経営内容や業績などをお知らせするため、決算情報をホームページに掲載しています。

<https://www.shizuokabank.co.jp/ir/index.html>

連結子会社(13社)

- 静銀経営コンサルティング(株)
経営コンサルティング業務/代金回収業務
- 静銀リース(株)
リース業務
- 静銀ITソリューション(株)
コンピューター関連業務/計算受託業務

- 静銀信用保証(株)
信用保証業務
- 静銀ディーシーカード(株)
クレジットカード業務/信用保証業務
- 静銀ITソリューション(株)
株式公開支援業務/中小企業再生支援業務

- 静銀ディーエム証券(株)
金融商品取引業務
- 静銀総合サービス(株)
人事・総務・財務関連業務
有料職業紹介業務

- 静銀モーゲージサービス(株)
銀行担保不動産の評価・調査業務
貸出に関する集中事務業務
- 静銀ビジネスクリエイト(株)
為替送信・代金取立等の集中処理業務
労働者派遣業務

- 欧州静岡銀行
銀行業務/金融商品取引業務
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited
金銭債権の取得

- しずぎんハートフル(株)
各種文書の作成・印刷・製本業務

持分法適用関連会社(3社)

- 静銀セゾンカード(株)
クレジットカード・プリペイドカード業務/信用保証業務
- マネックスグループ(株)
金融商品取引業務等を営む会社の株式の保有
- コモンズ投信(株)
投資運用業務/投資信託販売業務

※2021年9月30日現在

静岡銀行グループが一体となって 多彩な金融ソリューションを提供します。

経営コンサルティング業務

静岡経営コンサルティング

M&A、事業承継、経営相談、経営改善計画など、企業経営に関する幅広いコンサルティングニーズにお応えします。

IT関連業務

静岡ITソリューション

静岡銀行グループ各社のIT戦略の実現を支援するとともに、地域のお客さまへのITソリューションを提供していきます。

リース業務

静岡リース

さまざまな用途の機械・器具・設備や、建機、自動車のリースなど、お客さまの設備導入ニーズにお応えします。

金融商品取引業務

静岡ティーエム証券

投資信託やファンドラップ、債券、株式など幅広い商品ラインアップにより、多様化・高度化するお客さまの資産運用ニーズにお応えします。

ベンチャー支援

静岡キャピタル

ベンチャー投資や事業承継、再生支援など、さまざまなファンドを活用して、地域の中小企業の支援に取り組んでいます。

クレジットカード業務

静岡ディーシーカード

カード会員・加盟店に各種クレジット機能を提供し、利用者の利便性向上と地域の消費活動の活性化に取り組んでいます。

クレジットカード業務

静岡ゼゾンカード

静岡での暮らしをサポートする「ALL-Sカード」など、地域の事業者と生活者をつなぐサービスを提供しています。

金融商品取引業務

マネックスグループ

お客さまのライフスタイルを豊かにする未来志向のオンライン金融サービスを提供しています。

金融商品取引業務

コモンズ投信

お客さまの資産形成を長期的に支援するため、投資信託などの商品・サービスを提供しています。

※お客さまに直接サービスを提供するグループ会社、持分法適用関連会社を記載しています。



この印刷物には、環境に配慮した
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した「カラーユニバーサルデザインのための指針」を参考に編集しています。



静岡銀行

<https://www.shizuokabank.co.jp/>